

主要施策

1

## 地域を担う

# 産業人を育むまち



### 基本的な方向性

本町における産業に誇りを持ち、まちの活性化につながる産業人の育成に向けた取組を進めます。

産業の担い手としてのスキルを身に付ける取組に加え、そのまま町内で就業したいと思えるシステムづくりや、持続的な商品づくりのための取組を進めます。

# 社会を取り巻く状況とこれまでの取組

## 農林水産業における担い手の確保・育成

○農業では、地域の農地を守る中心的な担い手を確保するため「人・農地プラン」の実質化に向けた集落での話し合いを進めるとともに、認定農業者等を支援しました。畜産業では、飼養規模拡大をめざす若手畜産農家の牛舎等施設整備を進め、新規就農者研修を受け入れる大規模農家の経営支援を行いました。林業では、北但西部森林組合と連携した森林施業を推進し、若手林業従事者の雇用確保につなげました。水産業・水産加工業では、但馬漁業協同組合や香住・柴山港の両水産加工業協同組合と連携し、各種水産振興支援施策を行うとともに、外国人実習生の受け入れ体制整備を進めました。

## 従業員の資質向上と起業支援

○事業所の持続的な発展と事業所を支える従業員の資質向上を図るため、企業が開催する経営基盤の強化や生産性の向上につながる研修、従業員の資格取得等に対する支援を行いました。また、町内における雇用の創出と拡大を図るため、起業・創業希望者を対象に創業支援セミナーを開催し、事業活動に必要な知識を習得する機会を設けるとともに、専門家による個別相談会を開催し、創業に向けた支援を行いました。

## 雇用対策の充実

○企業立地促進条例に基づき、事業規模拡大を図る事業者への支援を行い、雇用促進を図るとともに、企業ガイドブックの作成や企業説明会等を通じて町内企業の魅力を発信し、新規就業者の確保に努めました。

# 今後の取組の方向性

## 多様な担い手の確保

○農業では、認定農業者等の経営支援に加え、それぞれの営農エリアに最適な営農形態に沿った「多様な担い手」を育成し、農業・農村を守る気風を醸成します。畜産業では、生産施設整備や増頭化支援を進め、畜産農家の飼養規模拡大と経営安定化を図ります。林業では、森林・林業の重要性を周知し、施業現場での機械化・近代化による作業の効率化を図ります。水産業では、漁業者の就労条件改善に向けた取組を支援するほか、香住高校等との連携を強化し「水産のまち」を支える地元就業者の創出に注力します。水産加工業では、加工現場への支援を行い、水産加工品のさらなる流通販路拡大により就業者を確保します。

## 事業者の経営基盤強化と女性活躍社会の実現

○事業所数や雇用の減少を抑えるため、事業所が抱える課題の解決を通じたさらなる経営基盤の強化を支援します。また、起業事業者へのフォローアップを図るとともに、子育て中の女性が働きやすい環境づくりや、事業所のワーク・ライフ・バランスに関する取組を推進します。

## 事業者への支援体制の充実

○事業所の事業規模の拡大に対する支援策の充実を通じ、新たな雇用を生み出すとともに、新規就業者とU・Iターン就職者をさらに確保するため、移住定住施策と関連付けながら雇用対策を推進します。また、関係団体の連携をより一層強化し、事業者の事業拡大や雇用確保に向けた計画づくりや相談体制の充実を図ります。

## 具体的な施策

### 農林水産業の担い手の確保・育成

農業においては、「人・農地プラン」の実質化を通じて中心的担い手農家を確保するとともに、定年帰農者や第2種兼業農家、新規就農者、農業生産法人等の「多様な担い手」を育成します。

畜産業においては、畜産農家のさらなる飼養規模拡大のための生産施設整備や増頭化支援、意欲的な新規就農者の確保育成を進めます。

林業においては、豊かな森林資源を高度活用する高性能機械導入等による省力化・近代化を推進し、森林施業従事者の確保育成を進めます。

水産業においては、新造船建造や就労条件改善に向けた取組及び外国人実習生受け入れ事業を支援するとともに、香住高校等と連携した「海で生きる」人材育成を進めます。

水産加工業においては、加工現場の環境改善・作業効率化・衛生化等への支援を行うほか、香住産水産加工品のさらなるブランド化を進めます。

### 観光業・商工業を支える人材への支援

事業所が抱える課題を解決し、個々の経営力の強化につながる支援を行うとともに、国や県が実施する女性活躍推進のための助成金や認証制度等の利用を促進するなど、女性の地元雇用の促進を図ることとあわせ、事業所に対するワーク・ライフ・バランスに関する意識の醸成を図ります。

また、創業支援セミナーの内容の充実や専門家によるフォローアップとあわせ、新事業創出と起業事業者の円滑な経営を支援する包括的起業支援施設の整備について検討を進め、起業事業者の自立や事業継続への支援の強化を図ります。

### 観光業・商工業の雇用対策の推進

安定した雇用を継続的に確保するため、事業所の設備投資に対する支援策の充実を図るとともに、関係者や関係機関による相談支援体制を構築し、企業誘致を推進します。

また、企業説明会への町内企業の参加を増やすとともに、移住定住施策と関連付けながら雇用対策を推進し、新規就業者とU・Iターン就職者の確保を図ります。

さらに、事業者の経営状況分析、事業計画づくりへの支援とあわせ、人手不足やアルバイト等の雇用率が比較的高い観光分野において、将来の観光産業を支える人材を育成・確保するとともに、関係者、関係機関が連携し、事業拡大や雇用確保対策を強化します。

〈 対応する SDGs の項目 〉



施策指標

	2014 年度 (前年度)	2019 年度 (現状値)	2025 年度 (目標値)
新規就農者数（農業、畜産業）（人/年間）	...	3	5
ワーク・ライフ・バランス推進企業 認定件数（件/累計）	...	0	10
ハローワーク香住管内（美方郡） 有効求人倍率（倍/年間）	0.93	1.79	1.79

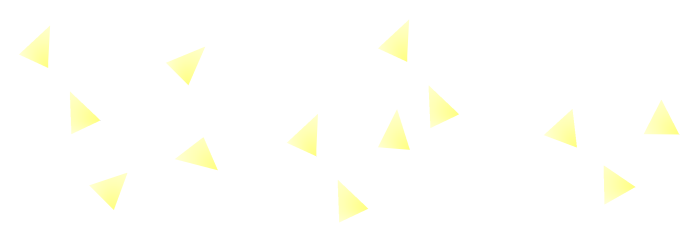
〈 関連個別計画 〉

○創業支援計画

〈 やってみよう 〉

○ワーク・ライフ・バランスに関する意識醸成

○消費活動を通じた町内企業への支援



主要施策

## 2

# 次代を生かす 農林業を 振興するまち



### 基本的な方向性

豊かな自然を生かし、農林業を振興することで、次代を生かせるまちをつくります。  
そのため、生産性向上のための整備や特産品等の振興、森林を守りつつ活用する取組を進めます。

# 社会を取り巻く状況とこれまでの取組

## 農地保全の推進

○日本型直接支払3事業の実施、「人・農地プラン」の実質化及び農地中間管理事業等により、農地の保全を推進するとともに、地域特産物の生産拡大や、但馬牛堆肥を活用した有機農業を推進しました。また、「香住梨」の生産振興を図るとともに、農業生産の効率化や農業生産基盤整備を推進しました。

## 増頭対策の推進

○畜産農家の経営規模拡大と経営の安定化を図るため、牛舎等飼養管理施設整備や増頭化に向けた繁殖農家の自家保留等に支援を行いました。また、但馬牛ブランドの確立をめざし、「美方郡産但馬牛」世界・日本農業遺産推進協議会の一員として日本農業遺産への認定に取り組みました。（2018（平成30）年度認定）

## 森林の公益的機能保全

○森林の公益的機能を保全するため、森林施業等を行うとともに、「新たな森林経営管理システム」に沿って、森林環境譲与税を活用した基本計画の策定や条件不利地域での間伐等を進めました。また、北但西部森林組合による木質バイオマス発電燃料のチップ生産の支援や、「木の駅プロジェクト」の推進に努めました。

## 有害鳥獣による被害対策の強化

○有害鳥獣による農作物被害や生活被害が増加するなかで、狩猟免許取得奨励やわな設置支援等により、有害鳥獣防除や捕獲活動を進めました。

# 今後の取組の方向性

## 魅力あふれる農業の推進

○水田農業を基本としつつ、条件不利な中山間地域にも適応する経済性の高い作目や地域風土に根ざした特産物の生産奨励、「食える農業」をめざした経営規模の拡大、農産物加工を含めた複合的経営等により、農業所得の向上をめざします。また、山間奥地の農地の遊休化が進行するなかで、農地利用の最適化と優良農地の保全を進めるとともに、効率的な農業生産、農作業の省力化を図るため農業生産基盤整備を推進します。

## 経営安定対策の推進

○「但馬牛の原産地」として一層の増頭化を推進するとともに、繁殖経営を基本としつつ、一貫経営の促進と但馬牛堆肥を活用した耕畜連携を推進します。また、日本農業遺産認定を活用した「美方郡産但馬牛」の付加価値向上と一層のブランド化、観光・交流等と連携した地域活性化に取り組みます。

## 長期的視点にたった森林資源の活用

○自然環境保全への関心が高まるなか、森林の公益的機能を保全するため、長期的視点にたった森林資源の活用・保全の考え方を確立します。また、「木の駅プロジェクト」の推進とあわせ、森林資源を活用した新たな取組の研究を進めるとともに、住民の森林保全に対する関心を高め、町内の公共施設の内装等の木質化を推進します。

## さらなる有害鳥獣対策の推進

○国内で有数のシカ生息地域であることを踏まえ、シカ等による農作物被害を減らすための対策を強化します。

# 具体的な施策

## 農業の振興

農業農村を次代に引き継ぐため、農業委員会等関係機関と連携した「人・農地プラン」の策定・実質化のための集落での話しあいを推進するとともに、耕作放棄や農地荒廃を防止するため、農地中間管理事業や農地集積集約促進事業、集落営農等を推進します。

また、地域風土が生んだブランド製品の生産拡大、畜産と連携した有機農業を推進するとともに、「香住梨」の生産においては「二十世紀」に加え、オリジナル品種「なしおとめ」を柱とした平場栽培の導入、新たな高収益作物の栽培や農産物加工（6次産業化）の研究を推進します。

さらに、将来の営農継続に向けた農業生産基盤整備の推進、中心的担い手に対する農業機械導入を支援するほか、ドローン等先進技術を生かしたスマート農業についての研究を進めます。

## 畜産の振興

さらなる増頭に向けた繁殖雌牛の導入や飼養管理施設等の整備を支援するとともに、飼養管理の省力化や優良牛生産のための放牧奨励、新たな畜産生産拠点づくりの検討を進めます。

また、家畜ふん尿処理の適正化、但馬牛堆肥を活用した町内有機農業の推進、オール但馬での広域耕畜連携システムを促進するとともに、美方郡和牛育種組合等が行う育種改良及び牛白血病等の防疫対策を支援します。

さらに、「美方郡産但馬牛」世界・日本農業遺産推進協議会の一員として世界農業遺産への認定に取り組み、畜産を柱とした地域活性化を推進します。

## 林業の振興

国県補助事業や森林環境譲与税を活用し、奥地も含めた広大な人工林の適切な管理、森林施業を推進するとともに、伐期を迎えた人工造林地の皆伐・再造林サイクル等の在り方を検討します。

また、木材加工、製材、バイオマス利用、公共施設の内装等の木質化等、地域内産材の活用を進めることとあわせ、「木の駅プロジェクト」等により森林保全に対する住民の関心を高めます。

## 有害鳥獣対策

シカ等による農作物被害の減少に向け、猟友会捕獲班との連携をさらに強化し、近隣市町とも共同した広域的捕獲体制を構築するとともに、農会や住民が地域ぐるみで主体的に防除・捕獲活動が展開できるよう、意識啓発を進めます。

また、需要動向を踏まえつつ、捕獲個体のジビエ利用についても検討を行います。



〈 対応する SDGs の項目 〉



施策指標

2014 年度  
(前回値)

2019 年度  
(現状値)

2025 年度  
(目標値)

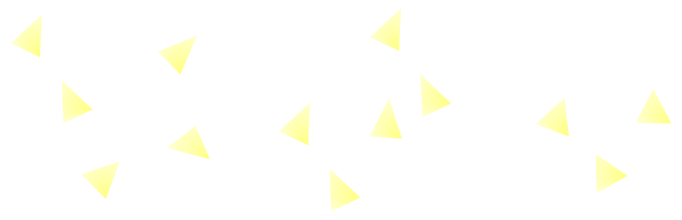
	2014 年度 (前回値)	2019 年度 (現状値)	2025 年度 (目標値)
経営耕地面積 (田) (ha)	...	512	500
繁殖雌牛飼養頭数 (頭/年間)	1,223	1,422	1,500
間伐実施面積 (ha/年間)	...	331	350
有害鳥獣 (シカ・イノシシ) 捕獲頭数 (頭/年間)	...	2,256	3,000

〈 関連個別計画 〉

- 農業振興地域整備計画
- 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
- 農地中間管理事業の推進方針
- 肉用牛生産近代化計画
- 但馬牛クラスター計画
- 森林整備計画
- 鳥獣被害防止計画

〈 やってみよう 〉

- 農業後継者の育成
- 木材利用意義の理解
- 農地・森林の適切な維持管理





主要施策

## 3

水産業を

振興するまち



## 基本的な方向性

住民にとって魅力的で誇りとなる「香美町水産業」を創出し、活気あふれるまちをつくれます。ブランドの確立に加え、魚食普及を進めることで、よく産みよく消費するサイクルを構築します。

## 社会を取り巻く状況とこれまでの取組

### 漁業者の経営安定化の促進

○漁業者の経営の安定を図るため、漁獲共済や漁船建造、燃油高騰等に対する各種支援のほか、ヒラメやアワビ等の中間育成、種苗放流を支援するとともに、但馬漁業協同組合が行う漁業生産施設整備や外国人実習生の受け入れを支援しました。また、日本初の魚食普及条例を制定し、魚食普及事業や「香美町とと活隊」の活動を支援するとともに、日本海側随一の水産のまちであったかつてのにぎわいを復活させるため「香美町の水産を考える会」を発足させ、将来に向けた検討を進めました。内水面漁業については、アユ等の稚魚放流による釣り客誘致等の観光振興を促進しました。

### 水産加工事業者の経営安定化の促進

○水産加工事業者の経営の安定を図るため、加工施設整備を支援するとともに、魚類残さいや廃発泡スチロールの処理事業を支援したほか、関係機関等と連携し、東京や大阪で開催されるシーフードショー等での水産加工品のPR、市場開拓、販路拡大活動を支援しました。

## 今後の取組の方向性

### 水産物のさらなるブランド化の推進

○漁業資源の管理が厳しさを増すなかにあって、日本海側随一の水産のまちとしての活力を取り戻すよう、「香美町の水産を考える会」により、漁業・水産加工業全体の在り方を検討し、再構築します。また、魚食普及活動を継続して推進するほか、水産物のさらなるブランド化、「魚のまち」としての誇りとイメージアップを図るとともに、アユ等稚魚放流の継続実施や天然アユの生息環境保全、カワウ等による食害防止を進めます。

### 水産加工品のさらなるブランド化の推進

○魚食普及活動の推進とあわせ、消費者のニーズに応えられる新商品の開発や、先端技術の導入による「香住水産加工品」のさらなるブランド化を支援し、生産拡大や販路拡大を推進します。

## 具体的な施策

### 漁業の振興

老朽化した冷凍冷蔵庫等漁業生産施設の改修整備を進めるため、香住漁港・柴山港の在り方、市場の再編・再構築について方向付けを行い、計画的な事業実施体制及び関係者の気運づくりを進めます。

また、「魚のまち」として一層の魚食普及を推進するとともに、市場の高度衛生管理、水産物の鮮度保持対策を促進し、活魚の流通拡大、「香住」「柴山」ブランドのさらなる高品質化と販路拡大を支援します。

さらに、国が行う水産資源管理を進めるとともに、民間事業者等が行う新たな養殖・蓄養事業についての研究を支援します。

加えて、清流矢田川を生かすことを目的とし、アユ等の稚魚放流や天然魚類の生息環境保全のための河川づくりや内水面漁業振興を促進します。

### 水産加工業の振興

H A C C P（Hazard Analysis and Critical Control Point）の義務化に対応した各水産加工事業所の衛生管理を促進するほか、消費者志向に沿った新商品開発を支援するとともに、加工事業の基盤づくりやプロトン凍結等の先端技術導入によるさらなる鮮度保持、ブランド化、販路拡大を支援します。



### 〈 対応する SDGs の項目 〉



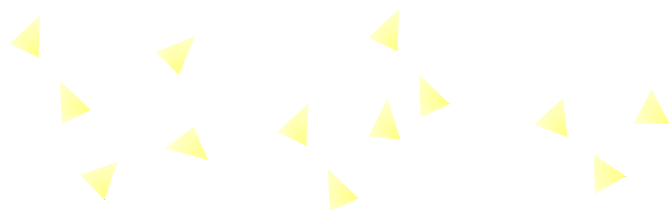
### 施策指標

	2014 年度 (前年度)	2019 年度 (現状値)	2025 年度 (目標値)
漁獲金額 (百万円/年間)	3,806	4,668	5,000
水産加工業の売上額 (百万円/年間)	12,904	13,500	14,000

### 〈 関連個別計画 〉

### 〈 やってみよう 〉

- 魚食普及活動への参加
- 町内産加工品の積極的な消費



主要施策

4

# 地域資源を活かし 人と経済の循環を 生みだすまち



## 基本的な方向性

地域資源を活用することで、商工業や観光業が発展するまちをつくれます。

ものづくりに関するセミナーの開催や、観光商工業の振興等、本町がさらににぎわう取組を進めます。

## 社会を取り巻く状況とこれまでの取組

### 事業者の経営の安定化

- 事業者の経営の安定を図るため、低利の融資事業を行うとともに、販路拡大や新たな市場開拓のための支援を行いました。また、高齢化する小規模な小売業者等に持続的な経営を促すため、設備支援を行いました。

### 地域経済活性化対策の推進

- 地域経済の活性化とにぎわいの創出を図るため、豊かな食材をはじめとした地域資源を活用したイベントや「香美町フェア」の開催、神戸営業所によるマスコミを通じたPRを行い、香美町の知名度の向上に努めました。また、インバウンド対策を強化するため、外国語版ホームページやパンフレットの作成、外国語翻訳機導入補助及び訪日外国人行動分析調査を実施しました。

### 6次産業化の推進

- 地域経済を豊かにするため、少子高齢化や人口減少により第1次産業の担い手が不足するなか、地域資源を最大限活用し農林水産業を活性化させる6次産業化を推進してきましたが、試作品開発から商品化までのハードルが高く、取組希望者が少ない状況となっています。

## 今後の取組の方向性

### 自立的な経済循環の推進

- 個々の事業者の現状を分析し課題の整理を行うとともに、課題克服のための対策を検討し、地域に雇用と所得を持続的に生み出す自立的な経済循環を推進します。

### 新たな食材等を活用した誘客の推進

- 体験型観光やアクティビティ、新たな食材を活用した誘客を進め、従前より取り組んできたさまざまな地域資源を活用したイベントや「カニ」と「但馬牛」に依存した誘客に頼らない地域の活性化に取り組めます。また、訪日外国人行動分析調査の結果を踏まえたインバウンド対策とあわせ、多言語に対応した看板整備やキャッシュレス化等をさらに推進します。そのほか、新たな媒体によるPR活動を検討するとともに、神戸営業所を中心に行っている京阪神地域でのPR活動をさらに強化します。

### 事業者への長期的な支援

- 新商品の開発に向けた知識習得や試作品開発に対する支援のみならず、さまざまな角度からの長期的な支援を行います。

## 具体的な施策

### 商工業の振興

中小企業振興条例及び中小企業・小規模企業振興計画に基づいた各種施策を推進するとともに、関係者及び関係機関と連携し、中小企業等に対する支援体制を構築します。

また、企業振興関連計画に基づいた施策の検証を行い、商工業の振興を図りながら、地域外からの資金を獲得することで、地域内経済の好循環を創出します。

### 観光業の振興

ノドグロやホタルイカ、松葉ガニ、香住ガニ、但馬牛をはじめとした豊富で質の高い「食」の魅力に磨きをかけ、その魅力を活かした「美食観光」の推進とあわせ、香住海岸や矢田川をはじめとした地域資源や四季折々の魅力を活かした体験型観光やアクティビティによる年間誘客対策の推進により、地域内経済のさらなる好循環を促進します。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大によって求められている新たな生活様式に沿った旅行スタイルに対応した観光客の受け入れ体制を整備するとともに、多言語対応看板の整備やキャッシュレス化の推進によるインバウンド対策の強化を図ります。

さらに、DMOをはじめとした広域観光の推進、観光関連アプリやPR動画の活用、神戸営業所の一層の活用によるPR活動の強化を図るとともに、観光協会をはじめとした観光関係団体等の体制強化と多様な主体による連携を構築・強化するため、まちづくりの関係者や団体が集まるプラットフォームの形成を進めます。

### ものづくりの推進

地域資源を活用したものづくりに対する支援内容の充実と長期的な支援を進めるとともに、起業・創業支援とあわせた取組を推進します。

また、これまでの6次産業化の取組を踏まえ、付加価値の向上をめざした生産と加工・販売の一体化に向けた支援策の検討や新商品・新サービスの開発、販路拡大等のノウハウの習得等、専門家による指導を含めた多様な支援を行います。



〈 対応する SDGs の項目 〉



施策指標

2014 年度  
(前年度)

2019 年度  
(現状値)

2025 年度  
(目標値)

起業や商工業者の経営課題に関する相談件数 (件/年間) ※商工会への相談を含む	...	—	▶▶▶	12	▶▶▶	24
観光入込客数 (万人/年間)	...	135.1	▶▶▶	132.5 (2018 年度)	▶▶▶	165.0
宿泊客数 (万人/年間)	...	32.6	▶▶▶	36.8 (2018 年度)	▶▶▶	42.6
新商品開発に向けた専門家による指導事業所数 (事業所/累計)	...	—	▶▶▶	1	▶▶▶	12

〈 関連個別計画 〉

- 中小企業振興計画
- 観光振興計画

〈 やってみよう 〉

- 観光資源の発掘・活用
- おもてなしの心の醸成
- 町内消費による地域内経済循環への寄与